

健康知恵袋

子宮がん検診を受けましょう！

子宮がんとは

子宮がんには、子宮の入り口の部分（子宮頸部）の粘膜にできる子宮頸がんや子宮の奥の部分（子宮体部）にできる子宮体がんなどがあります。

◆子宮頸がん

子宮頸がんの発生率は、50歳以上の中高年層ではこの20年間で減少してきていますが、20歳～24歳では約2倍に、25歳～29歳では3～4倍に増加しています。

【発症しやすい年齢】

30歳～40歳代

【主な症状】

- 不正出血
- 黄色または血性のおりもの
- 性交時の接触出血

◆子宮体がん

【発症しやすい年齢】

50歳以上の女性

【主な症状】

- 閉経後の出血
- 生理不順や生理異常による不正出血

平成20～21年度の受診状況（黒潮町）

年度	検診名	対象者数(人)	受診者数(人)	該当年度受診率(%)
20	子宮がん検診	2,779	521	18.7
21	子宮がん検診	2,635	463	17.6
	女性特有のがん検診推進事業(子宮がん検診)	280	57	20.4

※子宮体がんの原因のひとつに、卵胞ホルモン（エストロゲン）の過剰分泌があります。肥満や糖尿病、高血圧は卵胞ホルモンを増やす原因となりますので、子宮がんを予防するためにも生活習慣病の予防が大切です。

子宮がんを予防する日常生活の注意

- 体を清潔にしましょう。
- 20歳を過ぎたら定期検診を受けましょう。
- 異常があった場合には専門医を受診しましょう。

子宮がん検診

◆目的

子宮頸がんの早期発見・早期治療につながるために実施しています。

◆対象者(22年度)

平成23年3月31日において満年齢が偶数歳になる20歳以上の女性

◆料金 600円

※70歳以上の方は無料となります。

◆検査方法

問診と医師による内診（子宮の触診）、細胞診（綿棒のようなものでこすって細胞を採取）を行います。

医師による内診と細胞診の検査時間は、ほとんどの方が数分で済みます。

黒潮町の実施する子宮がん検診では、子宮頸がんやその前がん病変（細胞の異常がみられる状態）を発見することができ、子宮体がんを発見することができます。

子宮体がんを正しく診断するためには、別の検査や診察が必要です。

不正出血がある方、気になる症状がある方は婦人科のある医療機関を受診してください。

い。検診で発見される子宮頸がんの約8割は、早期がんの段階で発見されています。しかし、早期の子宮頸がんでは自覚症状はほとんどありません。自覚症状がない方も定期的に子宮がん検診を受診し、がん予防に努めましょう。

女性特有のがん検診推進事業

平成22年度も「女性特有のがん検診推進事業」を実施します。対象年齢に該当する女性に対して子宮がん検診費用が無料になる検診無料クーポン券を送付します。

「女性特有のがん検診推進事業」検診無料クーポン送付対象者

年齢	この間の誕生日の方が対象者となります。
20歳	平成元年4月2日～平成 2年4月1日
25歳	昭和59年4月2日～昭和60年4月1日
30歳	昭和54年4月2日～昭和55年4月1日
35歳	昭和49年4月2日～昭和50年4月1日
40歳	昭和44年4月2日～昭和45年4月1日

※平成22年3月31日現在の年齢です。

当直医療機関一覧表

月	日	四万十市	宿毛市
7月	4日(第1日曜日)	四万十市民病院 ☎34-2126	大西内科胃腸科 ☎0880-63-1267
	11日(第2日曜日)	竹本病院 ☎35-4151	清谷医院 ☎0880-63-2302
	18日(第3日曜日)	四万十市民病院 ☎34-2126	いなげ胃腸科内科 ☎0880-62-1113
	19日(海の日)	木俵病院 ☎34-1211	大井田病院 ☎0880-63-2101
	25日(第4日曜日)	中村病院 ☎34-3177	川村内科クリニック ☎0880-66-2911
8月	1日(第1日曜日)	四万十市民病院 ☎34-2126	幡多けんみん病院 ☎0880-66-2222

※当直医は変更になる場合がありますので、あらかじめ確認してから受診してください。